

名古屋市地球温暖化対策実行計画2030の進捗状況について

1. 温室効果ガス排出量等の実績

	基準年度 (2013年度)	最新値 (2022年度)	目標値 (2030年度)
温室効果ガス排出量(万トン-CO ₂)	1,599	1,280	774
最終エネルギー消費量(PJ)	172	145	117

2. 指標

2030年までの施策	指 標	計画策定時 (2022年度)	最新値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
施策1 脱炭素型で自然を活かしたまちづくり	拠点市街地及び駅そば市街地の人口密度	84人/ha (2015年)	86人/ha (2020年)	84人/ha以上 (2035年)
	名古屋のみどりが多いと思う人の割合	66% (2020年度)	66% (2020年度)	70%
	新たに確保された緑の面積(2021年度からの累計)	113ha	165.5ha	400ha
	本市の脱炭素先行地域におけるCO ₂ 排出量 (みなとアクルスにおける民生部門の電力消費に伴うCO ₂ 排出量)	-	-	実質0t-CO ₂
施策2 モビリティ(交通・移動)の転換	市内主要地点1 日(平日)あたり自動車交通量の合計	121万台 (2021年)	118万台 (2023年)	108万台 (2029年)
	市内の鉄軌道・市バス1 日あたりの乗車人員合計	204万人 (2021年度)	240万人 (2023年度)	258万人 (2029年度)
	市内の自動車保有台数に占める環境性能優良車の割合	73%	77%	100%
施策3 住宅・建築物の脱炭素化の促進	一定の省エネルギー対策を講じた住宅の割合	19.9% (2018年)	23.0% (2023年度)	35% (2028年)
施策4 脱炭素型ビジネススタイルとイノベーションの促進	なごやSDGsグリーンパートナーズ登録認定数(累計)	2,869件	2,994件	4,300件
	省エネルギー訪問相談件数(年間)	2,358件	1,721件	2,000件
施策5 再生可能エネルギーの普及拡大	太陽光発電設備の導入容量	283,620kW	321,204kW	490,000kW
施策6 水素エネルギーの普及拡大	燃料電池自動車の普及及び水素ステーションの整備	-	大規模水素ステーションの整備に向けた検討を実施	国の水素基本戦略等の目標達成に貢献する取り組みを推進
施策7 行動する人づくり・パートナーシップの推進	市民団体、事業者、教育機関など「なごや環境大学」を支える団体数(累計)	517団体	545団体	565団体
	温室効果ガスの削減に取り組む市民の割合	57.9%	53.0%	75%
施策8 市役所自らの取り組み	温室効果ガス排出量	74.0万t-CO ₂	69.7万t-CO ₂	46.8万t-CO ₂
	電動車の導入割合(代替可能な電動車がいない車両を除く)	15.7%	37.9%	100%
	LED照明の導入割合	31.2%	45.0%	100%
	太陽光発電設備の設置割合 (太陽光発電設備を設置可能な建物における設置割合)	38.6%	38.5%	50%
	再生可能エネルギー電力の導入割合	25.0%	35.6%	60%
施策9 気候変動の影響への適応	新たに確保された緑の面積(2021年度からの累計)【再掲】	113ha	165.5ha	400ha